



道

この街で暮らす

草

監督 穴戸大裕

みちくさ

2019年6月8日(土)

昭島市保健福祉センター(あいぽっく)講習室

14:00~16:30(開場 13:30)

要予約:定員50名:資料代500円(当日精算)

ゲストトーク 岡部耕典様・知美様ご夫妻(出演者)

たったひとりの世界では、
自分は見えない。
道草をしながらふたりで
歩く散歩は、この世界とつな
がり、相手の瞳に自分を映し
出す時間。
こんな時間をすべての人が
持つことができれば、わたし
たちはもっともっと優しくな
れるだろう。

瀧瀬あや(映画監督)



はみ出していく。 よし、はみ出していこう。

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとばしブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わりなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。

ひとはさびし、ふたりで歩く。
雨は降る、陽は輝く。人は泣き笑う。

<知的障害者の暮らしとは？>

知的障害がある人の暮らしの場は広がってきていますが「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親元で暮らしているのが実情です。

2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー付きのひとり暮らしが出来る可能性は大きく広がりました。

そんな中、16年夏には相模原障害者殺傷事件が起きました。この街で誰もがともにあるために、新しい選択肢を見つめてみませんか？



2018年/95分/16:9/カラー/日本

監督・撮影・編集：穴戸大裕 / 音楽：末森樹 永原元 / 音響構成・整音：米山靖 / 宣伝デザイン：林よしえ / 宣伝イラスト：木下ようすけ / 題字：岡部亮佑

特別協力：全国自立生活センター協議会 / 助成：公益財団法人 キリン福祉財団 / 企画・製作：映画「道草」製作委員会

お問合せ：映画「道草」上映委員会 Tel: 080-3457-8833 FAX: 087-883-6570 info@michikusa-movie.com http://michikusa-movie.com/



昭島市保健福祉センター（あいぼっく）昭島市 昭和町4丁目7-1
JR 昭島駅より徒歩5分

【お問い合わせ・ご予約】 自立生活センター・昭島

TEL:042-545-7553 FAX:042-545-7637 E-MAIL:cila@nifty.com

※手話通訳・音声ガイドなどご希望の方は、事前にご連絡ください。

この上映会は、真如苑「shinjo プロジェクト」の多摩地域市民活動公募助成を受けて開催しています。